

## 7-3 分析結果をグラフで確認する（構成比率表）

## 概要

メーカーや品種などの商品分類/階層分類単位で、陳列スペースや売上数量、売上金額、粗利益の構成比を棒グラフで表示します。  
陳列構成比と売上構成比を見比べて、構成比のバランスが適正かを確認します。

## 【活用例】

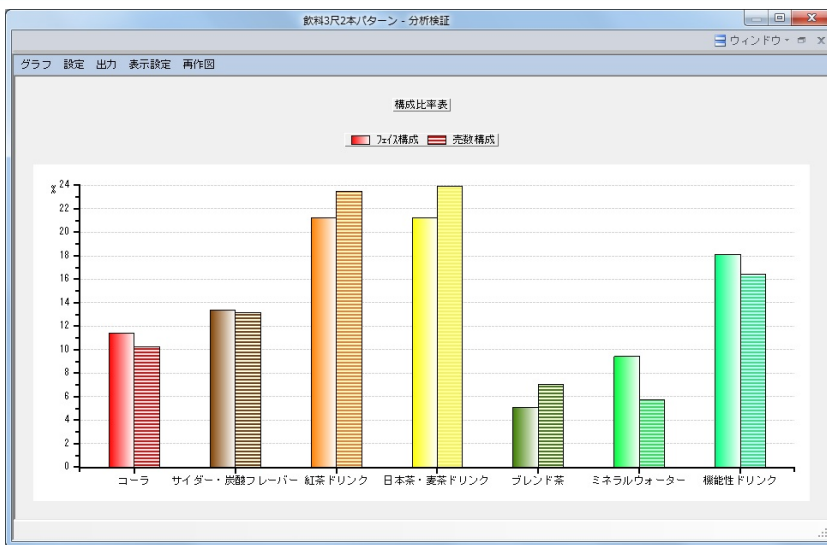
- ・メーカーごとの売上構成比を見比べて、メーカー別シェアを確認する
- ・構成比のバランスが悪い分類を特定して、次回棚割での陳列修正を検討する



## 起動方法



## 操作方法



## グラフの表示

1. [棚割操作] - [分析検証] をクリックします。
2. [グラフ] をクリックして、「構成比率表」を選択します。

## グラフの設定

1. [設定] - [グラフ設定] をクリックします。
2. グラフの設定を行いません。

出力値	グラフの基準となる商品分類を選択します。
出力項目	グラフに表示させる項目を設定します。
その他設定	設定した数値以上の項目は「その他」としてまとめて表示します。
出力順	出力時のソート基準を選択します。
表示形式	結果をグラフで表示するか数値で表示するかを選択します。

## ドリルダウン

棒グラフを右クリックすると「ドリルダウン」が選択でき、ドリルダウンすることで更に細かな視点で構成比を確認できます。例えば、グラフの出力値を「品種」にしてドリルダウンで「メーカー」を設定すると、選択された品種の中でどのメーカーが売上に貢献しているかを確認することが可能です。

## 該当商品の確認

棒グラフをクリックすると、その分類に該当する商品が一覧で表示されます。

商品単位でフェイス数や売上数量、売上金額の確認が可能であり、一覧に表示した商品は仮置情報への陳列や Excel 出力が可能です。

## グラフの出力

### クリップボードにコピーする

1. [出力] - [クリップボード] をクリックします。
2. Excel や PowerPoint を開き、貼り付けします。

### 画像ファイルで出力する

1. [出力] - [ファイル] をクリックします。
2. ファイル名を入力します。
3. ファイルの種類 (BMP/JPEG/EMF) を選択して保存します。

### Excel に出力する

1. [出力] - [Excel グラフ] をクリックします。
2. 「出力グラフの選択」より出力するグラフの種類を選択します。
3. 「グラフサイズの設定」より Excel 出力時の使用行数/列数を設定します。
4. [タイトル設定] [X 軸設定] [Y 軸設定] [その他設定] より凡例やタイトルフォントサイズなどを設定します。
5. [実行] より保存先を選択します。

## 表示方法の変更

グラフに表示させる方法を表示設定より変更することができます。

表示設定	
棚割モデル名称を表示させる	[表示設定] - [棚割モデル名称を表示する] を選択します
分析期間を表示させる	[表示設定] - [分析期間を表示する] を選択します
実数値を表示させる	[表示設定] - [実数値ラベルを表示する] を選択します
X 軸の文字を縦に表示させる	[表示設定] - [X 軸ラベルを縦表示にする] を選択します

## 特記事項

- [出力] - [グラフ色設定] より棒グラフの色を設定することが可能です。
- 表示形式を「数値」に設定した場合、出力項目が全て選択された状態で表示されます。
- [棚割操作] - [分析設定] より「売上情報 (比較)」を設定されていない場合、出力項目で [比較] 項目を選択してもグラフは表示できません。
- ドリルダウンの実行前の状態に戻りたい場合は、棒グラフを右クリックして「ドリルアップ」を選択します。

## 7-3 分析結果をグラフで確認する (トレンド分析)

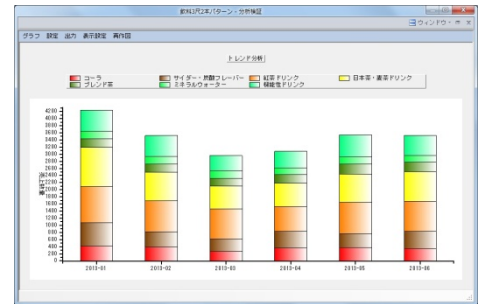
## 概要

メーカーや品種などの商品分類/階層分類単位で、設定期間の売上動向を積上棒グラフで確認できます。

また、特定分類だけを指定して売上動向を確認することが可能です。

## 【活用例】

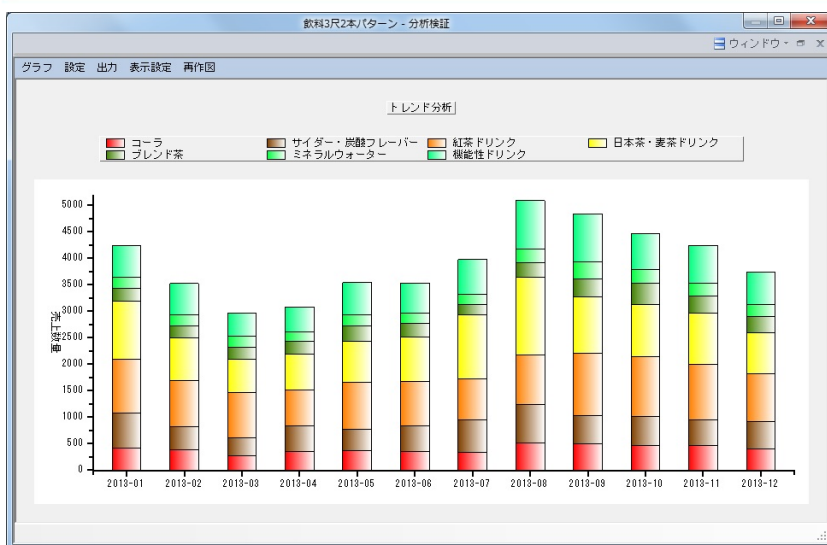
- ・売上動向が上昇傾向にあるのか下降傾向にあるのかを確認する
- ・昨年の売上動向をみて今年の動きを予測し、展開時期や品揃えを検討する



## 起動方法



## 操作方法



## グラフの表示

1. [棚割操作] - [分析検証] をクリックします。
2. [グラフ] をクリックして、「トレンド分析」を選択します。

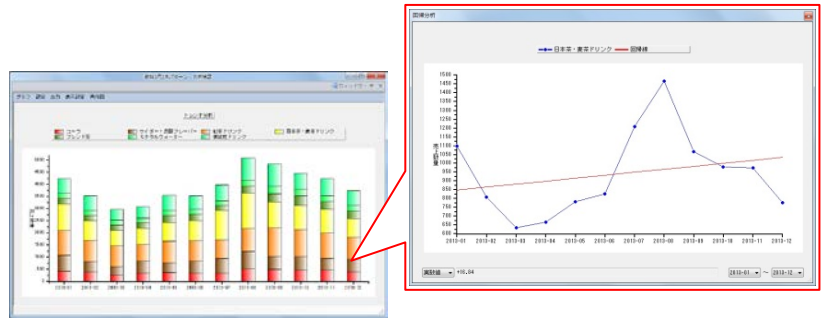
## グラフの設定

1. [設定] - [グラフ設定] をクリックします。
2. グラフの設定を行いません。

出力値	グラフの基準となる商品分類を選択します。
出力値(縦軸)	縦軸に設定する売上情報項目を選択します。
その他設定	設定した数値以上の項目は「その他」としてまとめて表示します。
出力順	出力時のソート基準を選択します。
表示形式	結果をグラフで表示するか数値で表示するかを選択します。

### 特定分類の売上動向を確認する

積上棒グラフより確認したい分類をクリックすると、選択した分類のみの売上動向と回帰線が表示されるため、その分類が上昇トレンドなのか下降トレンドなのかを確認できます。



### グラフの出力

#### クリップボードにコピーする

1. [出力] - [クリップボード] をクリックします。
2. Excel や PowerPoint を開き、貼り付けします。

#### 画像ファイルで出力する

1. [出力] - [ファイル] をクリックします。
2. ファイル名を入力します。
3. ファイルの種類 (BMP/JPEG/EMF) を選択して保存します。

#### Excel に出力する

1. [出力] - [Excel グラフ] をクリックします。
2. 「出力グラフの選択」より出力するグラフの種類を選択します。
3. 「グラフサイズの設定」より Excel 出力時の使用行数/列数を設定します。
4. [タイトル設定] [X軸設定] [Y軸設定] [その他設定] より凡例やタイトルフォントサイズなどを設定します。
5. [実行] より保存先を選択します。

### 表示方法の変更

グラフに表示させる方法を表示設定より変更することができます。

表示設定	
売上情報(比較)を使ったグラフを同時表示させる	[表示設定] - [売上情報(比較)同時表示] を選択します
棚割モデル名称を表示させる	[表示設定] - [棚割モデル名称を表示する] を選択します
分析期間を表示させる	[表示設定] - [分析期間を表示する] を選択します
実数値を表示させる	[表示設定] - [実数値ラベルを表示する] を選択します
X軸の文字を縦に表示させる	[表示設定] - [X軸ラベルを縦表示にする] を選択します
Y軸の文字を縦に表示させる	[表示設定] - [Y軸ラベルを縦表示にする] を選択します
視覚的な効果を出してグラフ表示させる	[表示設定] - [エフェクト表示する] を選択します

### 特記事項

- [出力] - [グラフ色設定] より積上棒グラフの色を設定することが可能です。
- [棚割操作] - [分析設定] で分析期間が未設定の場合はトレンド分析を表示できません。
- [棚割操作] - [分析設定] より「売上情報(比較)」を設定されていない場合、出力項目で [比較] 項目を選択してもグラフは表示できません。
- 環境設定で売上情報の集計単位が「日」で設定されている場合にはトレンド分析を実行できません。

## 7-3 分析結果をグラフで確認する (価格帯グラフ)

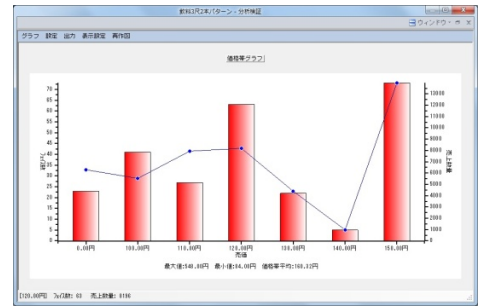
## 概要

陳列商品を価格帯ごとにグループ分けして、陳列ボリュームと売上のバランスを棒グラフと折線グラフで確認できます。

また、特定分類だけを指定して価格帯グラフを表示させることも可能です。

## 【活用例】

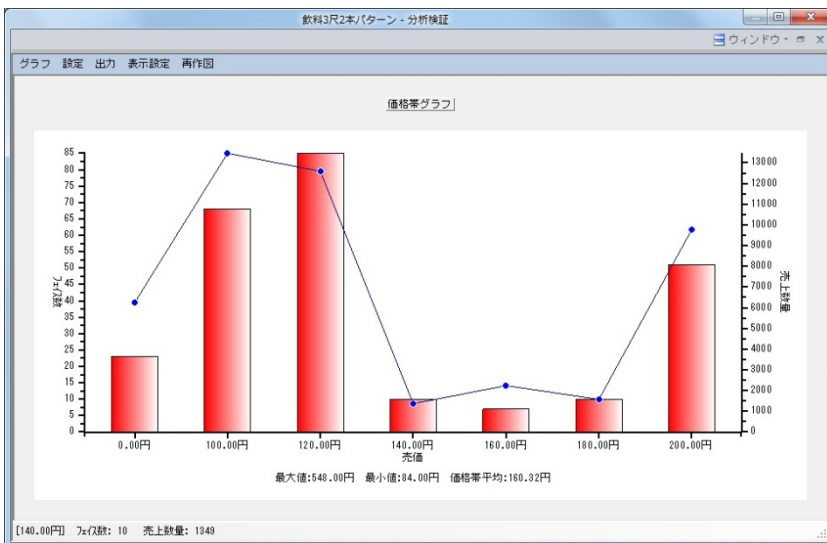
- ・ 陳列ボリュームと売上のバランスにギャップがないかを確認する
- ・ 陳列と売上のバランスをみて拡販やカット候補の対象となる商品を確認する



## 起動方法



## 操作方法



## グラフの表示

1. [棚割操作] - [分析検証] をクリックします。
2. [グラフ] をクリックして、「価格帯グラフ」を選択します。

## グラフの設定

1. [設定] - [グラフ設定] をクリックします。
2. グラフの設定を行いません。

出力値	「棒グラフ」と「折線グラフ」でそれぞれのグラフに表示させる項目を選択して、「分析価格項目」で価格帯ごとにグループ分けする時の価格項目を設定します。
価格レンジ設定	価格帯ごとにグループ分けする際の価格帯設定を行いません。
絞込設定	特定分類だけに絞り込んで価格帯グラフを表示させる場合に設定します。「陳列商品の商品分類を選択」をクリックすると、棚割モデルに陳列されている商品分類が自動的に選択されます。

## 価格レンジを設定する

### 手動で設定する

1. [設定] - [グラフ設定] をクリックします。
2. [価格レンジ設定] を有効にします。
3. リストに価格帯の数値を直接入力して [設定] をクリックします。

### 簡易操作で設定する

1. [設定] - [グラフ設定] をクリックします。
2. [価格レンジ設定] を有効にします。
3. [簡易設定] を選択して、初期値と価格ラインを入力して [設定] をクリックします。  
(※100円から20円刻みに設定したい場合には「100-20」と入力します)

## 該当商品の確認

棒グラフをクリックすると、その価格帯に該当する商品が一覧で表示されます。  
一覧に表示した商品は仮置情報への陳列や Excel 出力が可能です。

## グラフの出力

### クリップボードにコピーする

1. [出力] - [クリップボード] をクリックします。
2. Excel や PowerPoint を開き、貼り付けします。

### 画像ファイルで出力する

1. [出力] - [ファイル] をクリックします。
2. ファイル名を入力します。
3. ファイルの種類 (BMP/JPEG/EMF) を選択して保存します。

### Excel に出力する

1. [出力] - [Excel グラフ] をクリックします。
2. 「出力グラフの選択」より出力するグラフの種類を選択します。
3. 「グラフサイズの設定」より Excel 出力時の使用行数/列数を設定します。
4. [タイトル設定] [X 軸設定] [Y 軸設定] [その他設定] より凡例やタイトルフォントサイズなどを設定します。
5. [実行] より保存先を選択します。

## 表示方法の変更

グラフに表示させる方法を表示設定より変更することができます。

表示設定	
売上情報(比較)を使ったグラフを同時表示させる	[表示設定] - [売上情報(比較)同時表示] を選択します
棚割モデル名称を表示させる	[表示設定] - [棚割モデル名称を表示する] を選択します
分析期間を表示させる	[表示設定] - [分析期間を表示する] を選択します
実数値を表示させる	[表示設定] - [実数値ラベルを表示する] を選択します
X 軸の文字を縦に表示させる	[表示設定] - [X 軸ラベルを縦表示にする] を選択します
Y 軸の文字を縦に表示させる	[表示設定] - [Y 軸ラベルを縦表示にする] を選択します
視覚的な効果を出してグラフ表示させる	[表示設定] - [エフェクト表示する] を選択します

## 特記事項

- [棚割操作] - [分析設定] より「売上情報(比較)」を設定されていない場合、出力項目で [比較] 項目を選択してもグラフは表示できません。

## 7-3 分析結果をグラフで確認する（バブルチャート）

## 概要

縦軸、横軸、バブルの大きさで分類単位での陳列と売上のバランスを確認します。  
また、バブルの位置と大きさより各分類の売上貢献度を確認することが可能です。

## 【活用例】

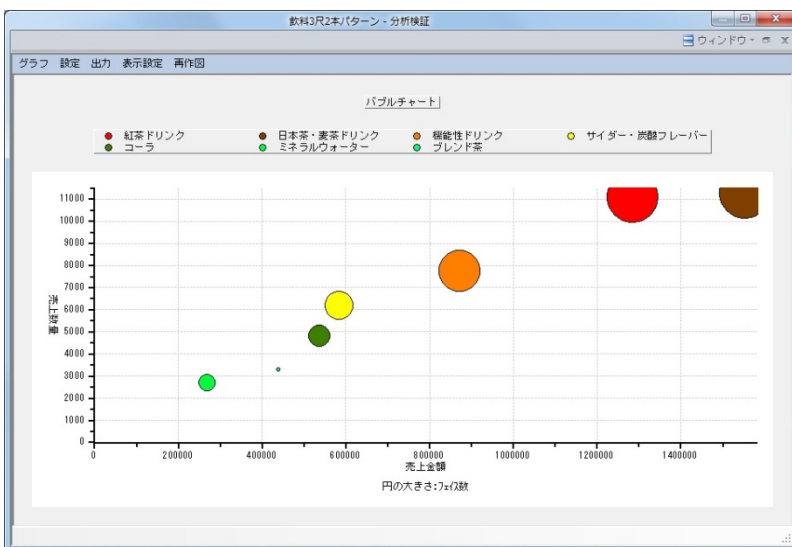
- ・ 陳列ボリュームに対して売上が適正であるかを確認する
- ・ 売上貢献度の高い商品群、売上貢献度の低い商品群を確認して販売計画を行なう



## 起動方法



## 操作方法



## グラフの表示

1. [棚割操作] - [分析検証] をクリックします。
2. [グラフ] をクリックして、「バブルチャート」を選択します。

## グラフの設定

1. [設定] - [グラフ設定] をクリックします。
2. グラフの設定を行ないます。

出力値	「縦軸」と「横軸」に表示させる項目を選択します。 「バブル基準」では、円の色分基準とする分類を選択します。 「バブル出力値」では、円の大きさの基準とする項目を設定します。
その他設定	設定した数値以上の項目は「その他」としてまとめて表示します。
出力順	出力時のソート基準を選択します。
詳細設定	バブル内の色を塗りつぶすかの設定、縦軸や横軸に罫線を出力するかを設定します。

## ドリルダウン

バブルを右クリックすると「ドリルダウン」が選択でき、ドリルダウンすることで更に細かな視点で構成比を確認できます。例えば、バブル基準を「品種」にしてドリルダウンで「メーカー」を設定すると、選択された品種の中でどのメーカーが売上に貢献しているかをバブルの位置や大きさより確認することが可能です。

## 該当商品の確認

バブルをクリックすると、その分類に該当する商品が一覧で表示されます。

商品単位でフェイス数や売上数量、売上金額の確認が可能であり、一覧に表示した商品は仮置情報への陳列や Excel 出力が可能です。

## グラフの出力

### クリップボードにコピーする

1. [出力] - [クリップボード] をクリックします。
2. Excel や PowerPoint を開き、貼り付けします。

### 画像ファイルで出力する

1. [出力] - [ファイル] をクリックします。
2. ファイル名を入力します。
3. ファイルの種類 (BMP/JPEG/EMF) を選択して保存します。

### Excel に出力する

1. [出力] - [Excel グラフ] をクリックします。
2. 「出力グラフの選択」より出力するグラフの種類を選択します。
3. 「グラフサイズの設定」より Excel 出力時の使用行数/列数を設定します。
4. [タイトル設定] [X 軸設定] [Y 軸設定] [その他設定] より凡例やタイトルフォントサイズなどを設定します。
5. [実行] より保存先を選択します。

## 表示方法の変更

グラフに表示させる方法を表示設定より変更することができます。

表示設定	
売上情報(比較)を使ったグラフを同時表示させる	[表示設定] - [売上情報(比較)同時表示] を選択します
棚割モデル名称を表示させる	[表示設定] - [棚割モデル名称を表示する] を選択します
分析期間を表示させる	[表示設定] - [分析期間を表示する] を選択します
実数値を表示させる	[表示設定] - [実数値ラベルを表示する] を選択します
X 軸の文字を縦に表示させる	[表示設定] - [X 軸ラベルを縦表示にする] を選択します
Y 軸の文字を縦に表示させる	[表示設定] - [Y 軸ラベルを縦表示にする] を選択します
視覚的な効果を出してグラフ表示させる	[表示設定] - [エフェクト表示する] を選択します

## 特記事項

- [出力] - [グラフ色設定] よりバブルの色を設定することが可能です。
- [棚割操作] - [分析設定] より「売上情報(比較)」を設定されていない場合、出力項目で [比較] 項目を選択してもグラフは表示できません。
- ドリルダウンの実行前の状態に戻したい場合は、バブルを右クリックして「ドリルアップ」を選択します。
- ドリルダウンやドリルアップ、バブルをクリックして該当商品を確認する際にはバブルの中心でクリック (右クリック) する必要があります。



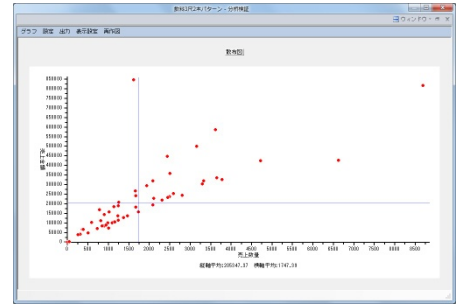
## 7-3 分析結果をグラフで確認する（散布図）

## 概要

縦軸と横軸の2つの軸を使用して、各商品の位置づけを確認します。  
各商品は点で表示しているため、どの商品がどれくらい売上に貢献しているか、どの価格帯にボリュームが集中しているか等を商品単位で確認することが可能です。

## 【活用例】

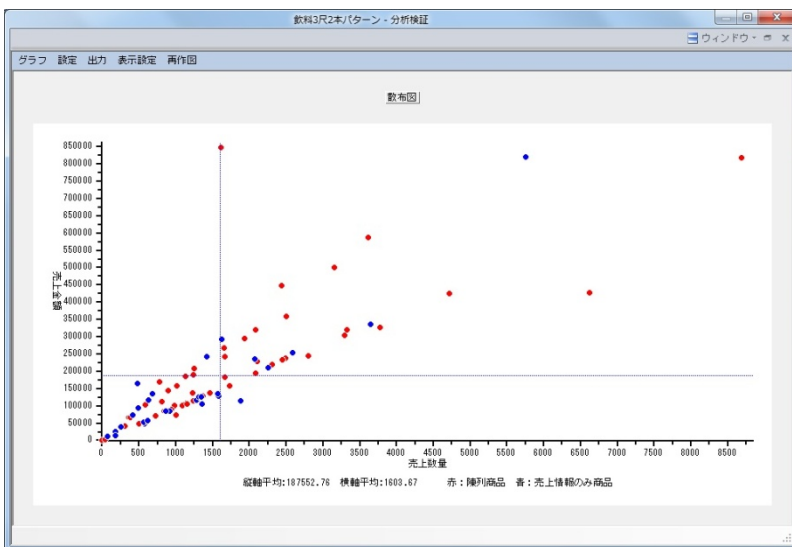
- ・売上貢献度の高い商品、売上貢献度の低い商品を確認して販売計画を行なう
- ・回転数や粗利率の高い商品を確認して、次回棚割でのフェイス数を検討する



## 起動方法



## 操作方法



## グラフの表示

1. [棚割操作] - [分析検証] をクリックします。
2. [グラフ] をクリックして、「散布図」を選択します。

## グラフの設定

1. [設定] - [グラフ設定] をクリックします。
2. グラフの設定を行ないます。

出力値	「縦軸」と「横軸」に表示させる項目を選択します。
絞込設定	特定分類だけに絞り込んで散布図を表示させる場合に設定します。 「陳列商品の商品分類を選択」をクリックすると、棚割モデルに陳列されている商品分類が自動的に選択されます。

### 平均値の確認

グラフ上に引かれた青い破線は平均値を表しています。  
縦軸と横軸に表示している平均値の実数値は画面下部より確認できます。

### 該当商品の確認

グラフに点在する点をドラッグすると該当商品が表示されます。  
複数商品を対象にする場合は点をまとめてドラッグし、一覧で表示した商品は仮置情報への陳列や Excel 出力が可能です。

### 陳列されていない商品もグラフに表示させる

1. [棚割操作] - [分析設定] をクリックします。
2. 「売上情報(分析)」の[詳細設定] をクリックします。
3. [売上情報のみ商品] より「売上情報のみの商品も分析対象にする」を有効にします。
4. 表示させたい分類を一覧より選択します。(「陳列商品の商品分類を選択」をクリックすると自動選択されます)
5. [設定] をクリックします。
6. 散布図を表示させると青い点が表示されます。

### グラフの出力

#### クリップボードにコピーする

1. [出力] - [クリップボード] をクリックします。
2. Excel や PowerPoint を開き、貼り付けします。

#### 画像ファイルで出力する

1. [出力] - [ファイル] をクリックします。
2. ファイル名を入力します。
3. ファイルの種類 (BMP/JPEG/EMF) を選択して保存します。

#### Excel に出力する

1. [出力] - [Excel グラフ] をクリックします。
2. 「出力グラフの選択」より出力するグラフの種類を選択します。
3. 「グラフサイズの設定」より Excel 出力時の使用行数/列数を設定します。
4. [タイトル設定] [X 軸設定] [Y 軸設定] [その他設定] より凡例やタイトルフォントサイズなどを設定します。
5. [実行] より保存先を選択します。

### 表示方法の変更

グラフに表示させる方法を表示設定より変更することができます。

表示設定	
棚割モデル名称を表示させる	[表示設定] - [棚割モデル名称を表示する] を選択します
分析期間を表示させる	[表示設定] - [分析期間を表示する] を選択します
実数値を表示させる	[表示設定] - [実数値ラベルを表示する] を選択します
X 軸の文字を縦に表示させる	[表示設定] - [X 軸ラベルを縦表示にする] を選択します
Y 軸の文字を縦に表示させる	[表示設定] - [Y 軸ラベルを縦表示にする] を選択します
視覚的な効果を出してグラフ表示させる	[表示設定] - [エフェクト表示する] を選択します

## 7-3 分析結果をグラフで確認する (マトリクス分析)

## 概要

縦軸と横軸でクロスしたマトリクス表を表示させて陳列状況を確認できます。最大4項目をクロスさせた結果を表示させることができるため、品揃えの詳細を把握できます。

## 【活用例】

- ・品揃え状況を見て、取扱商品に偏りや漏れがないかをチェックする
- ・出力値(縦軸/横軸)に売価項目を設定し、プライスラインを確認する

グラフ	設定	出力	表示設定	再作図			
[ 61900 ] コーラ ア/売数 売上数量	[ 62100 ] サイダー・炭酸フレーバー ア/売数 売上数量	[ 62400 ] 紅茶ドリンク ア/売数 売上数量	[ 62500 ] 日本茶・麦茶ドリンク ア/売数 売上数量	[ 62801 ] ブレンド茶 ア/売数 売上数量			
[ 84.00 ]		3	5,995.00				
[ 90.00 ]				3	9,576.00		
[ 100.00 ]				2	1,604.00		
[ 105.00 ]	1	1,125.00	2	1,665.00	1	1,378.00	
[ 108.00 ]			1	2,987.00			
[ 110.00 ]							
[ 115.00 ]			1	1,175.00	2	4,387.00	
[ 117.00 ]				1	2,982.00		
[ 127.00 ]	2	12,285.00	4	8,460.00		1	0.00

## 起動方法



## 操作方法

グラフ	設定	出力	表示設定	再作図			
[ 61900 ] コーラ ア/売数 売上数量	[ 62100 ] サイダー・炭酸フレーバー ア/売数 売上数量	[ 62400 ] 紅茶ドリンク ア/売数 売上数量	[ 62500 ] 日本茶・麦茶ドリンク ア/売数 売上数量	[ 62801 ] ブレンド茶 ア/売数 売上数量			
[ 84.00 ]		3	5,995.00				
[ 90.00 ]				3	9,576.00		
[ 100.00 ]				2	1,604.00		
[ 105.00 ]	1	1,125.00	2	1,665.00	1	1,378.00	
[ 108.00 ]			1	2,987.00			
[ 110.00 ]							
[ 115.00 ]			1	1,175.00	2	4,387.00	
[ 117.00 ]				1	2,982.00		
[ 127.00 ]	2	12,285.00	4	8,460.00		1	0.00

## グラフの表示

1. [棚割操作] - [分析検証] をクリックします。
2. [グラフ] をクリックして、「マトリクス分析」を選択します。

## グラフの設定

1. [設定] - [グラフ設定] をクリックします。
2. グラフの設定を行いません。

出力値	「縦軸」と「横軸」に表示させる項目を選択します。
出力項目	「商品単位」もしくは「商品分類単位」で表示させるかを設定します。 また、一覧よりグラフに出力する項目を選択します。
出力順	出力時のソート基準を選択します。
詳細設定	合計や小計を表示する設定、該当商品なしの場合の非表示設定などを行いません。

### 該当商品の確認

セルをクリックすると、該当商品が一覧で表示されます。

商品単位でフェイス数や売上数量、売上金額の確認が可能であり、表示した商品は仮置情報への陳列や Excel 出力が可能です。

### グラフの出力

1. [出力] - [ファイル] をクリックします。
2. ファイル名を入力して、ファイルの種類を選択します。
3. 保存先を選択して実行します。

### 特記事項

- グラフ設定の出力項目で出力単位を「商品分類単位」に設定している場合には詳細設定の「小計を出力する」の項目が選択できません。
- [棚割操作] - [分析設定] より「売上情報 (比較)」を設定されていない場合、出力項目で [比較] 項目を選択してもグラフは表示できません。
- マトリクス分析では「クリップボード」や「Excel グラフ」から出力することはできません。
- マトリクス分析では「表示設定」より表示方法を変更することはできません。